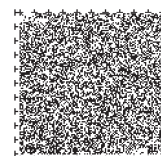


第 2 章

---

目指す姿とコンセプト



## 第2章

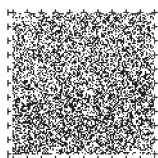
# 目指す姿とコンセプト

本県は、朝鮮半島や中国大陸と近接する地理的条件により、古くからアジアと日本との交流の玄関口として栄えてきた。古代には、遠の朝廷と呼ばれた大宰府政庁や外国使節の迎賓館である鴻臚館こうろかんが置かれ、中世に入ってから博多の港は貿易基地として発展し、多くの外国商人が行き交う国際都市となり、諸外国との交流を通して、様々な技術や文化が伝来した。更に明治時代になると、石炭や製鉄などの産業拠点として日本の近代化をけん引するなど、本県は日本が独自の文化や社会を形成する上で、大きな役割を果たしてきた。

こうした歴史的背景により、開放的で明るく、進取の気性に富む県民性が培われてきた。また、芸術分野の大学・専門学校が立地する本県においては、多くの若手芸術家が活動しており、未知なるものに挑戦する活力ある土壌を有している。

新福岡県立美術館（以下、「新県立美術館」とする。）では、本県の地理的、歴史的な背景や県民性などを踏まえ、「芸術の可能性を拡げ、挑戦する美術館」を目指すこととする。

福岡県立美術館は、前身の福岡県文化会館以来、福岡県に関わる美術品を収集するとともに、本県ゆかりの作家の企画展の開催、県民の創作活動の支援、国内外の優れた美術作品の紹介に努め、本県の文化芸術の中心施設として重要な役割を担ってきた。



このマークは目の不自由な方などが使う音声コードです

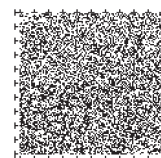
また、九州では、近世以降、我が国を代表する多くの芸術家を輩出し、芸術家や地域の特性を活かした多様な文化芸術活動が行われている。

新県立美術館は、これまで蓄積してきた貴重なコレクションをより一層充実させるとともに、九州各県の美術館と連携し、九州という大きなスケールの中で幅広く文化芸術活動を発展させていくため、「九州・福岡県の文化芸術の発展に貢献する美術館」を目指すこととする。

新県立美術館では、「芸術の可能性を拓げ、挑戦する美術館」、「九州・福岡県の文化芸術の発展に貢献する美術館」の2つを両輪とし、県民や芸術家が主役となり、県民とともに成長する、「県民が親しみ、誇りを育む美術館」を目指すこととする。

新県立美術館が整備される大濠公園は、福岡都心部からのアクセスに恵まれ、アジアを中心とした海外旅行客を含め、国内外から年間100万人が訪れる本県を代表する都市公園である。公園には能楽堂や日本庭園、福岡市美術館などの文化施設が集積するほか、公園面積の6割を占める大池や松を中心とした緑は、県民の心安らぐ憩いの場となっている。

新県立美術館においては、こうした公園の魅力を最大限に活かし、様々な文化芸術活動が実施されるフィールドとして活用していくことが重要であり、「公園と一体となった美術館」を目指すこととする。

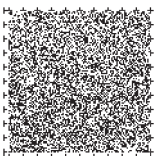


## 芸術の可能性を拓き、挑戦する美術館

- 我が国有数の文化ゾーンとしての集積やアジアとの交通の要衝であるというポテンシャルを活かし、国内外の芸術家が交流し文化芸術活動を展開する拠点となる。
- 最先端の技術を活用するなど新しい美術表現が行われ、新たな文化芸術の潮流を生み出す拠点となる。
- 若手芸術家の創作・発表などの文化芸術活動を支援し、次代を担う芸術家を育む拠点となる。

## 九州・福岡県の文化芸術の発展に貢献する美術館

- 福岡県ゆかりの作家の美術作品や工芸品、関連する資料などを体系的に整理し、分かりやすい魅力的な展示等を通じ、福岡県の美術活動の過去・現在・未来を発信していく拠点となる。
- 県立美術館が蓄積してきた県民の美術資産を守り、継承していくとともに、福岡県や九州にゆかりのある作家の作品や貴重な資料を収集し、一層のコレクションの充実を図る。
- 県内はもとより、九州の美術館等と連携を深め、それぞれの美術館の特色を活かしながら、九州の文化芸術の発展と魅力の発信に資する取組みを推進する。



このマークは目の不自由な方などが使う音声コードです

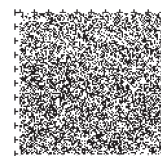
## 県民が親しみ、誇りを育む美術館

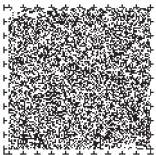
- 県民が美術に親しみ、楽しみながら感性を磨き、豊かな心を育むとともに、自らの才能を発見し、伸ばす拠点となる。
- 本県を中心とした豊かな文化芸術や美術資産に触れ、学ぶことができ、郷土への誇りと愛着を育む拠点となる。
- 文化芸術の社会包摂機能を活かしながら、多様な人々が美術館活動に参加し、文化芸術を通じたつながりや共感が生まれる拠点となる。
- 地域や学校、県内美術館等と連携し、文化芸術活動の効果を県内各地域にもたらす地域活性化の拠点となる。

## 公園と一体となった美術館

- 四季折々に多彩な表情を見せる大濠公園と親和し、セントラルパーク構想のエリアはもとより、広く周辺地域にも活動の場を広げ、人々が文化芸術を感じることができる広大なアート空間を創出する。
- 能楽堂や日本庭園、福岡市美術館とも連携し、多様な美術表現の場となることにより、新たな文化芸術活動を誘発する。
- エリアのランドマークとなり、国内外の多くの人々の交流を促進する。

このマークは目の不自由な方などが使う音声コードです





このマークは目の不自由な方などが使う音声コードです

---